

建築主：I氏
 設計：前原香介建築設計事務所
 施工：有限会社 片岡建設
 所在地：茂原市

一樹々と共に緩やかに生活する。完成度の高い住まいー

町保の家



外観

この住宅は開発行為により区画変更した新しい住宅地の角地に建つ。平屋建てで高さを抑えた佇まいは黒色の板張りで周囲に強いメッセージを感じさせるが、敷地に植えられたまだ小ぶりの樹々が住宅と共に成長すると、建物より存在感を増していく想定だ。「町の人々を爽やかに送り出し、優しく迎える場になる」願いが込められている。

植物を使った作品をつくる奥様と外部で和むことを好むご主人の2人の住まいである。パブリック(アトリエ)+セミパブリック(LDK)+プライベート(BR+水回り)のスペースを導線が交わることはないように配置。外部からのアプローチはパブリックとセミパブリック+プライベートの2箇所設け、庇を長く出すことで内外の中間領域をそれぞれの顔で醸し出している。庭(植物と和みの外部)はアトリエとリビングに面するが視線が交わることはない。どこにいてもそれぞれの良さが発揮できるよう配慮されたゾーニングとなっている。

ディテールに目を向ける。導線に沿った視線の先の壁、家具、照明がさりげなくデザインされている。開口部の位置や大きさ、納まり

が丁寧に考えられ、採光や通風にも配慮されている。無駄なものはひとつもない。どこにいても絵になる完成度の高い空間に仕上がっている。

現在は夫婦2人の住宅であるが、将来家族が増えたときは庭に増築を考えているという。今の生活を満喫するために計画された空間は樹々の成長や今後の家族の変化でどのように変わっていくのだろうか。庭の風景も違ったかたちに進化していくのだろうか。将来もまた楽しい住宅である。

(藤本 香)



リビング・ダイニング(障子)



玄関からアトリエを覗く(土間)